



H30スローガン
「協働」



平成31年 1月 4日(金)
発行所: 中部教育事務所



慶春

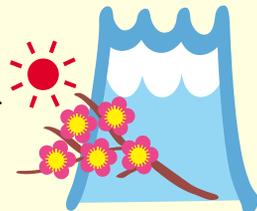
新年あけましておめでとうございます。

新年明けましておめでとうございます。

平成最後の新年となりましたが、皆様どのような新年の門出を迎えられたでしょうか。年号が変わる一年となりますが、皆様にとって幸多き一年になりますよう心からお祈りいたします。

中部教育事務所では、学校の授業や活動、指導・支援が円滑にそして適切にすすめられますよう、本年も「協働」をスローガンに、支援・サービスの向上により一層努めてまいります。

本年もどうぞよろしくお祈りいたします。



さて、昨年は、新燃岳・硫黄山の噴火、大阪や北海道の地震、度重なる台風襲来や豪雨災害、そして記録的で季節外れの猛暑と、本当に災害の多い一年でした。毎年京都清水寺で発表される昨年度の漢字も、第一位が「災」でした。また、教育の分野では、先生方の働き方改革にも本格的にメスが入り始め、学力向上や体力向上そして心の教育が叫ばれる中、ワークライフバランスを一人一人が考えることができるようになりつつある一年でもありました。

そんな中、AIやIoTの急速な進展に伴い、社会がめまぐるしく変化しています。社会の変化にも対応し、私たちのふるさと「宮崎」を盛り上げていく人材として子ども達に育ててほしいという願いから、本事務所では昨年、3地区で「**県民総ぐるみ教育推進研修会**」を実施しました。前号で詳細をお知らせしましたが、学校が地域や企業と「協働」しながら、「よのなか教室」を行い、子ども達に「生き方」を大人が伝えていこうとするものです。各地区の「パネルディスカッション」で協議された内容が今後に生かされ、各学校での「よのなか教室」が充実することを願います。

先日ある雑誌に、**ロボットクリエイターの「高橋 智隆さん」**の記事が掲載されていました。高橋さんが手がけたロボットは、『キロボ』、『エボルタ』、『ロビ』、最新作の世界初ロボットスマホ『ロボフォン』など、30体以上に上ります。そんな高橋さんの子どもの頃の夢は**「ロボット科学者になること」**でした。「鉄腕アトム」や「ドラえもん」などのアニメを読んでいた**「漠然とした夢が、人生を進むうちに実現化されていったのが、ロボットクリエイター高橋さんの夢実現へのストーリー**」でした。

高橋さんは、滋賀県で少年時代を過ごし、「文系」の大学へ入学され卒業されます。卒業したものの就職試験で挫折を経験し、一年の予備校生活を経て京都大学工学部に再入学をされています。進路を変更したことで、京都大学在学中にベンチャー企業を立ち上げ、ロボットクリエイターの道に進むことができたようです。**「挫折をしたことで、子どもの頃に描いた夢に向かうチャンスが到来した**」ということです。また、幼少期を紐解いてみると、欲しかった超合金ロボットを買ってもらえず、画用紙やブロックを使って作り、「**欲しいものは作れ**」という精神を培ったようです。

有名になり社長になった今でも、自分一人で作っている創造性、気概は、これまで生きてきた経験のなかで培われていったのではと感じる記事でした。そして、9年ほど前から、日本全国で開催されるロボット教室で小学生へのアドバイスをされています。ギネス世界記録を3つも持ち、ある雑誌の「未来を変える33人」にも選ばれている高橋さんが、小学生に直接アドバイスされていることに驚かされましたが、こうして活躍する本物の姿を見せ、話を聞かせ、「生き方に触れる」教育が、子ども達の未来をさらに夢あるものにしていくのではないかと感じました。

活躍されている方々、そして地域を盛り上げておられる方々、その道の専門職である企業の方々と、多くの方々と「協働」によるよのなか教室」の充実により、子ども達の未来が広がっていくことを願います。

本年も各学校での特色あるお取組をどうぞよろしくお祈りいたします。

中部教育事務所 ホームページ開設！！！！

中部教育事務所では、きめ細かな情報提供を行うため、11月にホームページを開設しました。本事務所の重点事項や実施している研修に係る資料、また、各種様式を簡単にダウンロードできるものです。ぜひアクセスしてみてください。

○掲載先: 教育ネットひむか→宮崎県の学校→大学・他の教育機関・組織
○URL:<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc043/htdocs/>



問合せ先: 中部教育事務所 (広報担当: 柚木山)

TEL(0985)44-3322 Fax(0985)44-3330 代表アドレスchubu-kyoiku@pref.miyazaki.lg.jp